



支え合い

福井県立美方高等学校 3年 神門 円樹

私は、現在18歳になろうとしている。周囲に比べて、比較的大人な方だと思う。そう思うのは、過去に様々な経験をしてきたからだ。

私の父は日本人で母はロシア人だ。母には、ウクライナの血も入っている。そのため、周囲の子と見比べれば違いはすぐに分かる。幼少期は、ハーフであることで大人からチヤホヤされていたし、保育園でも誰もが私と仲良くしてくれた。

だが、小学校に入学したその日、隣の席の男の子に話しかけようとした瞬間、「外人は帰れ」と言われ、ツバをかけられた。私は、差別を受けたのはその時が初めてで、その時自分は周りとは違うと気付かされた。でも私は負けずに学校に通った。中学年になるまで様々な出来事があったが、決して休みはしなかった。私は、3つ下の弟を持つ一人の姉でもある。弟も私のように差別を受けて、不登校になってしまった。私は、とても悲しかった。だが、次第に弟も差別を受けなくなり学校に通い普通のように生活をしている。

差別やイジメを受けていた当初、日本とロシアとの問題でも因縁をつけられた事があった。「ロシアは殺し屋恐ろしや」などと、馬鹿にされた事も多々あった。なぜ、異国の血が入っている私達だけが、こんな目に合わないといけないのか理解不能だった。日本だって、多くの問題を抱えている。だが、多くの国からの支えがあったり、話し合いがあるから、今の日本はある。

それは、人にも言えることではないだろうか。日本には、他国よりも増して、親切な心を持っている。それは、支え合っているからではないかと思う。その素晴らしい心がけ、思いやり、文化をもっと大切にすべきだと思う。そうすれば、差別は激的に減少すると私は考える。

次に、ハーフの私から見て日本人は恥しがりすぎている。さっきも言ったような、素晴らしい親切な心があるにも関わらず、困った外人を見つけると避ける人が多い。理由は、「私、英語をそんな喋れないから」と口をそろえて言う。私も、ロシアの血が入っていて、見た目は外人寄りだが英語は得意ではない。しかし、コミュニケーションをとるのは大好きだ。日本人は、常に完璧を求めている。だから、しっかりした英語で話さなきゃ、と思ってしまう声をかけられない。言葉が多少変でも、コミュニケーションを大切に伝えよう、助けようという思いが何より大切だ。日本の英語教育も、まずは話せなくても良いから話しかける意識の大切さを、もっと重視すべきだ。

私は、今まで様々な体験をしたが日本は大好きな国だ。高校でも、大好きな友人、大切な人が多く存在し、高校以外でも多く居る。でも、差別だけは無くして欲しい。外見や、言葉、色々と違うかもしれないが同じ人間だ。差別をする人間こそ、私は人間では無いと思う。私の母は、私の自慢の母だ。自分の生まれ育っていない国でも、困った人が居たらすぐに話しかけ、助ける。声をかけられた側は、初めは驚くが、皆必ず最後には笑顔で「ありがとう」と言う。母は、その度に嬉しそうだ。母も、日本人の心を持っている。国籍は違うが、日本人の心を持つロシア人だ。母からは、沢山ロシアの良い所の話も耳にしている。私も、実際に行ったことがある。とても、良い国だ。ロシアに限らず、世界は良い国、良い人でいっぱいだ。だからどうか、差別をしたりしないで欲しい。

私は、辛い事を多く経験したが、皆が支えてくれたから今ここに居る。両親、友人、先生、多くの人と出会い支えられてきた。国同士の大きな問題にしても、何にしても皆が支え合って仲の良い世界をつくりあげていきたいし、つくりあげて欲しい。